高次脳機能障害とは

交通事故や脳卒中によって脳に傷がついた場合、言語・思考・記憶・行為・学習・注意などの能力に障害が生じることがあります。生じた障害のことをまとめて高次脳機能障害と言います。

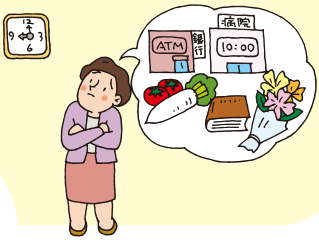
代表的な症状

記憶障害

- 新しいことを憶えられない
- 同じことを何度も繰り返し聞いてくる

遂行機能障害

- 予測を立てて行動することができない
- 効率的に仕事ができない



注意障害

- 見落としが増えた
- 一つのことに集中できない
- 同時に複数の作業を行うことができない

社会的行動障害

- 後先考えずに行動をしてしまう
- ちょっとしたことで怒ってしまう
- あればあるだけお金を使ってしまう
- その場の空気を読むことができない

高次脳機能障害は様々な症状が複数現れることが多いですが、程度には個人差があります。症状によっては、病気や事故に遭うまでの生活を送ることが困難となることもあります。また、日常生活では問題がなくても仕事など限定された場面でのみ症状が現れることもあるので、本人の状態や目標に合わせた支援を展開し、効果的な対処方法を獲得することが必要です。